



新小山市民病院ニュースレター

Shin-oyama City Hospital News letter

1 副院長挨拶 ～ 医療安全について ～

私は、消化器内科部長であるとともに医療安全対策部長を兼務しております。役職名にもあるように医療の現場では「安全」と言う言葉がよく使われますが、病院で受ける検査・処置・治療など、採血から手術に至るまで安全を保証できるものは何一つありません。医療の現場で言う「安全」というのは、それ相応の危険性を伴いつつも患者が受け入れ可能な範囲のリスクを「安全」と言っているに過ぎません。このため、医療者はそのリスクを事前に説明し、患者・家族に理解して頂く必要があるわけです。リスクの高い外科手術などは起こりうる偶発症などを列記して同意を得るのが一般的ですが、ここで一つ注意したい点があります。それは、説明する側があまり重要視していない（想定していない）偶発症や合併症です。同意書には想定外のものは書きようがありません。ですから、一度そのような事が起こってしまうと「説明責任を果たしていない」として問題視されることになります。そのような事にならないように、普段から備えが必要になります。同意書の記載内容を細かくするにも限りがあります。何よりも私が大切であると思うのは、患者・家族とのコミュニケーションと診療姿勢です。病気や治療内容に関する知識や理解度は、医療者と患者側では相当な差がありますので、患者・家族の質問に耳を傾けることは重要です。普段の言葉遣いも大切です。事務的な対応は厳禁。そして、侵襲の大きな検査・治療に際しては100%命の保証をできるものではないことを伝えておくことも必要な時代です。リスクを恐れて萎縮医療になることなく、患者・家族と十分な情報共有のもとで最善の医療を提供できるよう日々心掛けています。

まだまだ至らぬ点があると思いますが、今後ともご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

平成29年12月

新小山市民病院 副院長・消化器内科部長 田野茂夫

2 TOPICS

第6回病院ふれあいまつりを開催しました

10月15日（日）第6回ふれあいまつりが開催されました。

たくさんの方々にご来場いただき、盛大に開催することができました。

初企画のロボットスーツHAL、メンタルコミットロボットパロ、パートナーロボットunibo体験では、長蛇の列が出来ていました。

また、つるかめ診療所 所長 鶴岡 優子 先生にご協力いただき、ミニ講演会で「在宅医療モノ語り～往診靴の中をのぞいたことがありますか？」という演題でお話を頂戴しました。

なんと白衣は往診靴に入っていないことが多いそうです。

雨で1日中気温も上がらずとても寒い1日でしたが、参加いただきました方々に、より一層ご理解いただけたものと思います。



目次:

副院長挨拶	1
新任医師紹介	2
意見調査の報告	3
連携室からのお知らせ	4

ハイライト

● 雨の中、新小山市民病院まつりを無事開催することができました。鶴岡先生のミニ講演会、とても楽しく聴くことができました。ありがとうございました。

● 9・10・11月に着任した新任医師をご紹介します

● 医療連携室からは意識調査について簡単ですがまとめました。

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。



年末年始の 診療案内

12/29（金）～1/3（水）
の6日間は外来診療（救急を除く）をお休みさせていただきます。なお、救急外来は二次救急（入院や手術を要する重症な患者さん）を原則として受け入れております。

救急の受入状況によって診療できない場合がございますので、緊急時に直接来院される場合には、必ず事前に下記電話番号までお問い合わせください。

救急外来・休日夜間受付

☎ 36-0290

また、一次救急（入院まで至らない比較的軽症な患者さん）の場合には、まずは

夜間休日急患診療所

（☎ 39-8880）

もしくは

一次救急医療機関当番病院
（小山市広報参照）

にお問い合わせください。

※ 診察券（お持ちの方）・
保険証・医療受給証など（お持ちの方）・紹介状（他の医院、病院からの方）をお持ちになってご来院ください。



新任ドクターの紹介

9・10・11月採用の新しい医師を紹介します。



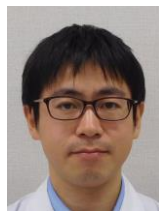
心臓血管外科
部長
大木 伸一

平成29年10月より新小山市民病院心臓血管外科に着任しました大木伸一（おおきしんいち）です。宇都宮出身で平成2年に島根医科大学を卒業後、自治医科大学胸部外科、心臓血管外科で診療を続けて参りました。大学では弁膜症や虚血性心疾患症例をはじめここ10数年は主に胸部大動脈瘤などの大血管疾患を中心に手術治療を担当してきました。大学では心疾患、胸部大血管の手術症例が多く、腹部大動脈瘤や末梢血管疾患などの血管外科領域まで十分に手がまわらないのが現状です。新小山市民病院の心臓血管外科は、大学で処理しきれない症例に対応可能な関連施設として期待がかかっており、その期待になるべく応えられるように手術症例を積み重ねていきたいと考えております。現在は腹部大動脈瘤や末梢血管疾患、下肢静脈瘤、内シャント造設などの手術を再開いたしました。当院で対応できない症例は自治医大と連携をとり対応いたしますので、心臓血管外科疾患でお困りの症例がありましたら気軽にご相談いただければと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

ご迷惑をお掛けする事も多々あるかと存じますが、誠心誠意対応させていただく所存でございます。
今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます



麻酔科
部長
田處 雅代



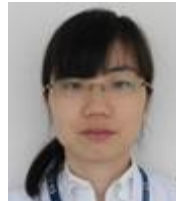
外科
副部長
宇井 崇



麻酔科
副部長
山本 令子



耳鼻咽喉科
医員
坂口 優



神経内科
医員
三浦 久美子



小児科
医員
鈴木 峻

小山市近郊地域医療連携協議会 総会を開催しました

「小山市近郊地域医療連携協議会」は、1年が経過しました。各部会では活発な意見交換がなされ、病院間の連携が密になり、地域における完結型医療の推進が一層図られています。

10月26日（木）、当院において、「総会」を開催しました。5つの部会それぞれの活動報告や平成28年度事業報告として、設立総会・各部会の開催状況、協議会セミナーの開催報告をしました。また、当院と会員施設との転院や入所等の連携状況を報告しました。

平成29年度の事業計画として、昨年同様各部会の活動や研修会開催、新しい取り組みとして病院別連携会議の実施と技術診療支援活動を提案させていただきました。この会議は、当院と会員施設が個別毎に開催し、医師、看護師、MSWなど多職種が一同に参加し、より深い情報交換ができるように考えております。また、技術診療支援活動については、当院から認定看護師や医療技術者を必要とされる会員施設に派遣させていただくことを計画していることを報告させていただきました。



紹介患者に対する意見調査で検討した内容 Part2

このたびの意見調査から、当院で検討できたものを報告させていただきます。

逆紹介先を一本化するように周知徹底します

『新小山市民病院に2科以上受診している方が、当院に紹介された場合、もう1科受診のために新小山市民病院を受診することになり、家族の負担が2倍になる。複数科を受診している人には、考慮が必要ではないか。』

というご意見をいただきました。検討した結果、当院で複数科を診ている場合、可能であれば順次、逆紹介先を一本化するように医師に周知徹底いたしました。

【お知らせ】

- ※ **消化器内科**と**泌尿器科**については、現在も、外来患者数が多く、予約が開始できない状況になっております。
患者さんには、紹介状を持参し**直接 11 時まで**に来院していただくよう、ご案内をお願いいたします。
ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。



患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関するこ
と・MSWに連絡・その他、外来
患者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

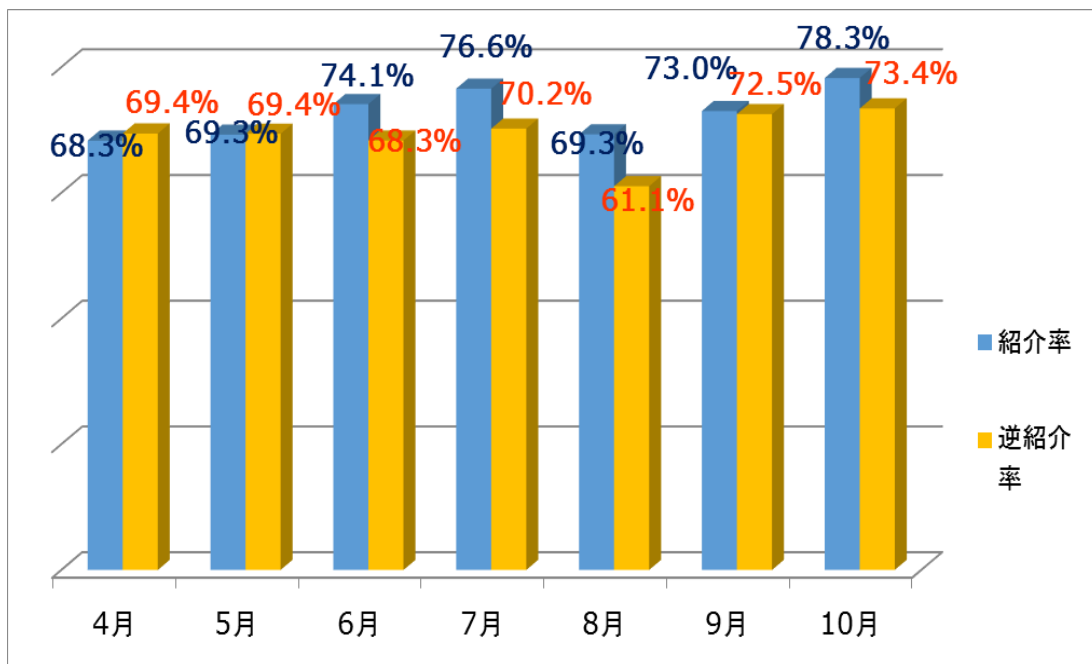
<https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital>



医療連携室からのお知らせ

いつも当院運営にご協力頂きありがとうございます。

今年度上半期の紹介・逆紹介率データを集計しグラフ化しました。



施設の共同利用について ～放射線科からのお知らせ～

CT共同利用（造影検査）について

6-8月の月別平均より9.10月の月別平均が約3倍に増えました。
常備薬の制限はありません。特に血圧の薬は必ず服薬して下さい。
水かお茶のみ検査の1-2時間前までに300ml程度は飲んで下さい。
脱水状態だと副作用が起きやすくなります。

とちまるネットについて

とちまるネットを活用すると詳細な画像データを閲覧出来て情報量
が増えます。
画像一覧から過去の画像も閲覧できるので比較が容易にできます。
是非ご利用下さい。

◇ **【予約の方法】造影剤を使用したCT検査(ダイナミック可)を追加しました
放射線科に直接お電話ください。《TEL：0285-36-0261》
受付時間 8：30～17：15**

※ 問診票、同意書に関しましては当院ホームページ(各種書類)からダウン
ロード可能となっております。

◇ **【注意事項】紹介状にクレアチニンの値の記載をお願いいたします。
6ヵ月以内のクレアチニンの値が正常であることが条件になります。
(目安としてeGFRが45以上)**